

## 令和6年度使用教科用図書の採択に係る教育委員会会議 会議録

令和5年 第6回 八百津町教育委員会会議にて付議

1 開催日時 令和5年7月25日(火) 午前9時00分 開議

2 開催場所 八百津町中央公民館 特別会議室

3 出席委員 教 育 長 社本 勝義  
教育長職務代理者 小松 普門  
委 員 佐藤 敏則  
委 員 宮ノ腰 美ゆき  
委 員 杉山 文

※欠席委員なし

### 4 議事要旨

(1) 令和6年度使用中学校用教科用図書の採択についての説明(事務局)

- ・可茂地区採択協議会の採択理由をもとに教科書について説明

(2) 質疑応答及び協議・採決

職務代理者：何か質問や意見等はありませんか

委員：国語は、分かち書きの扱いに各者の違いがあることが分かった。

委員：国語では、同じ教材でも、フォントや紙質などにより文字が見やすさに違いがある。

委員：書写の鉛筆の持ち方について、児童から見た視野の写真や右手だけでなく、左手の写真が掲載されている等の工夫がある。右手に無理に矯正するのではなく、多様性を認めていく工夫ということと理解したい。

委員：書写ではドリルの掲載に違いがあるなど、習得の過程に違いがみられた。

委員：社会では紙媒体の資料だけでなく、QRコードで使える資料などに違いがみられる。

委員：社会と地図帳で出版社が異なってもよいか。

事務局：学習指導要領に準じており、文部科学省の検定を通っているものなので、出版社の違いにより学び方に大きな差はない。

- 委員 : 色使いや資料の大きさなど、同じ地図でも見やすさに違いがある。
- 委員 : 算数の足し算の筆算におけるブロック図は、児童の思考の過程や具体物を操作する良さがあるという理解でよいか。
- 事務局 : 本町の児童の実態から、具体物を操作したうえで、数字による抽象思考につなげることを大切にしたい。
- 委員 : 理科の教科書は大きさに違いあったが、小さいほうが実験の時など、机を有効に使えると思う。
- 各委員 : 生活科で大事にすべきことは何か。
- 事務局 : 単に知識を得ることでなく、自ら気づくことを大切にしている。また、互いに伝え合う活動を大切にしている。
- 委員 : イラストの多さに違いを感じる。
- 委員 : 音楽では楽譜と楽器の扱い方の写真を上下に配置するなど、同じ曲でも各者により、扱いが違っている。
- 委員 : 英語について、児童の使いやすさだけでなく、教師にとっての使いやすさも考えたい。
- 各委員 : 図工では、釘をうつという技能と表現を楽しむという芸術的な視点をどう扱うかに違いがあることが分かった
- 各委員 : 技能を伴う教科は、実物大の写真や QR コード等、わかりやすさや使いやすさへの配慮に違いがある。
- 各委員 : 道徳では同じ資料の比較から、状況や心情の描写に違いがあることが分かった。本町や可茂地区の実態に即して考えたい。
- 職務代理者 : それでは、議案について、承認される方は挙手をお願いします。
- 全委員 : 全員挙手
- 職務代理者 : 令和6年度使用小中学校用教科用図書の採択については、原案どおり可決することとします。